

# 安全な住まいにしよう

大地震では、家具が倒れ、あらゆるものが落下してきます。そのため、家具の下敷きになって身動きが取れなくなったり、落下物でけがをする危険性が高くなります。

被害を防ぐために、自宅の安全点検を行いましょ。

## 家具の数を減らそう

- 不要な家具類は処分したり、ウォークインクローゼットや据え付け収納家具へまとめて収納するなど、生活空間にはできるだけ家具を置かないようにしましょう。

## 避難経路を確保する工夫をしよう

- ドアや避難経路をふさがないように、家具の配置を工夫しましょう。また、家具が倒れる向きも考えて配置しましょう。
- 避難経路や出入り口付近、「寝る場所」「座る場所」には家具は置かないようにしましょう。また、玄関のまわりには物を置かない工夫をしましょう。

## 家具を固定しよう

- 高さのある家具や冷蔵庫などは必ず固定しましょう。区では、家具の転倒防止器具等の助成制度を設けているほか、家具の固定方法についてのパンフレットを作成しています。これらを活用して対策に取り組みましょ。

## 家の中に逃げる場所をつくっておこう

- 地震が起きたときの鉄則は「落下物から身を守ること」です。身近な避難場所としてはテーブルの下が安全です。家族全員が身を寄せることができる大きさで、天板が厚く、脚が丈夫なテーブルが望ましいでしょう。日頃から、テーブルや机の下には物を置かないように注意し、テーブルの脚には滑り止めをつけておきましょう。



震災時に、家族のいのちを守る

## 事前確認シート

### 室内の確認事項〔危険箇所のポイント〕

家族と一緒に確認して、室内を安全にしておこう。

- 冷蔵庫や電子レンジなどの家電を固定している
- 食器棚の固定をしている
- 食器棚から中身が飛び出さないようにしている
- 照明器具が落下しないように対策をしている
- 散乱物で足をけがしないように履物を準備している
- 屋外までの避難経路を確保している
- ガラスが割れないように飛散防止対策をしている
- 停電時でも、懐中電灯を見つけられるようにしている
- 非常持出袋は中身を整理し、すぐ取り出せるようにしている

## 高層住宅では？

### 高層住宅特有の長周期地震動への対策

周期の長いゆっくりとした大きな揺れである長周期地震動は、高層住宅に起こりやすいため、重量のある家具には滑り止めを付けましょ。キャスター付の家具やラックはキャスターをロック状態(キャスターにロック機能がない場合はキャスター皿で固定)にし、高さのある家具はつっぱりポールで天井と固定ましょ。

